

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 1

ローマ書第5章から第8章における命の路線と死の路線

聖書：ローマ5:10, 12, 14, 17-18, 21. 6:4, 9, 16, 21-23. 7:5, 10, 13, 24. 8:2, 6, 10-11, 38-39

- I. ローマ書第5章から第8章が聖書の核心と呼ばれるのは、これらの章の中で二つの鍵となる言葉が繰り返し述べられているからです。それは命 (5:10, 17-18, 21. 6:4, 22-23. 7:10. 8:2, 6, 10-11, 38-39) と死 (5:12, 14, 21. 6:9, 16, 21, 23. 7:5, 10, 13, 24. 8:2, 6, 38) です：
- A. 命の木と善悪知識の木 (死の木) は、二つの路線を生じます。それは、命と路線と死の路線であり、それらは聖書全体を貫いており、啓示録において終了します。命は命の木をもって始まり (創2:9)、命の水の都である新エルサレムをもって終わりますが、その都は命の木 (啓22:1-2) と命の光 (21:23. 22:5) と命の栄光 (21:10-11, 23) を伴っています。死は知識の木をもって始まり (創2:17)、火の池をもって終わります (啓10:10, 14)。
 - B. 命の木は人を神に依存させますが (ヨハネ15:5)、知識の木は人を神に反逆させ、神から独立させます (参照、創3:5)。
 - C. キリストご自身は神の命、永遠の命です (ヨハネ14:6前半. 11:25. I ヨハネ1:2)。彼が来たのは、わたしたちが命を得、しかも豊かに得るためです (ヨハネ10:10後半)。彼は命を解き放つ死を遂げ、命を分与する復活の中へと入って (12:24. ルカ12:49-50)、命の霊の法則としての (ローマ8:2) 命を与える霊と成り (I コリント15:45後半)、わたしたちの霊とわたしたちの思いとわたしたちの体に命を与えますが、それはわたしたちが命によって飲み尽くされて、命の都のために命の民となるためです (10, 6, 11節. II コリント5:4)。
 - D. 命の木は、キリストの中に具体化された三一の神が、食物の形で人の命となることを表徴します——創2:9. ヨハネ1:4. 10:10後半. 14:6前半. I コリント15:45後半. ヨハネ6:35, 57 :
 - 1. 神が人を命の木の前に置いたことが示しているのは、神は人に、ご自身を有機的に食べることによって、またご自身を新陳代謝的に吸収することによって、ご自身を命として受け入れてもらいたかったということです。それは神が人の存在の構成要素となるためです——参照、5:39-40. II コリント3:6。
 - 2. 命の木が命の水の川の両側で成長していることは、それがぶどうの木であることを示します。キリストはぶどうの木であり、命でもあるので、彼は命の木です——啓2:7. 22:1-2. ヨハネ15:1. 14:6前半。
 - 3. キリストは、肉体と成ること、十字架、復活の手順を経過しました。それは人が命を得て、彼を食べることによって生きるためです——10:10後半. 6:51, 57, 63. 参照、イザヤ7:14-15。

Ⅱ. 主の回復は、命の木、すなわち、わたしたちの霊の食物である主イエスを食べて、キリストの有機的なからだを建造する回復です。わたしたちは、命の木、すなわち、わたしたちの霊の食物である主を以下の方法で食べることができます：

A. わたしたちは彼の言葉を食べることによって彼を食べることができます：

1. 「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる」——マタイ4:4。
2. 「あなたの言葉は、わたしのあごに何と甘いことでしょうか！ 蜜よりもわたしの口に甘いのです！」——詩119:103。
3. 「すると、彼はわたしに言われた、『人の子よ、あなたが見つかるものを食べなさい。この巻物を食べ、行って、イスラエルの家に語りなさい』。そこで、わたしが口を開くと、彼はわたしにその巻物を食べさせた。そして、彼はわたしに言われた、『人の子よ、わたしがあなたに与えているこの巻物で腹を養い、あなたの内側の各部分を満たしなさい』。わたしがそれを食べると、それはわたしの口に甘いこと蜜のようであった。彼はわたしに言われた、『人の子よ、イスラエルの家に行って、わたしの言葉を彼らに語りなさい』——エゼキエル3:1-4。
4. 「あなたの言葉が見いだされて、わたしはそれを食べました。あなたの言葉はわたしにとって、心の楽しみ、また喜びとなりました。エホバ、万軍の神よ、まことに、わたしは、あなたの御名によって呼ばれているのです」——エレミヤ15:16。
5. 「わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる。……命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命である」——ヨハネ6:57, 63。
6. 「その霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい」——エペソ6:17-18前半。
7. 「わたしはあなたの教訓を思い巡らし、あなたの路を重んじます」——詩119:15とフットノート1。

B. わたしたちは御父のみこころを行なうことによって彼を食べ、地上で神・人の生活をするにおいて御父の栄光を現すことによって飢え渴いた者たちを満足させることができます——マタイ24:45-47：

1. 「わたしの食物とは、わたしを遣わされた方のみこころを行ない、彼のみわざを成し遂げることである」——ヨハネ4:34。
2. 「わたしは、あなたがわたしに行なわせようとして与えられたわざを成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました」——17:4. 参照、コロサイ1:9-11。

C. わたしたちは適切な人々と接触することによって彼を食べることができます——レビ11:1-3, 9, 13, 21：

1. 食べることはわたしたちの外側の物と接触し、それらをわたしたちの中へと受け入れることです。その結果、それらは最終的にわたしたちの内なる構成となります。
2. レビ記第11章において、すべての動物はさまざまな種類の人々を表徴し、食べることはわたしたちが人々と接触することを表徴します——参照、使徒10:9後半-1

4, 27-29。

3. 神の民は、聖なる神が要求する聖なる生活をするために、接触する人々の種類について注意深くなければなりません——参照、レビ11:46-47. I コリント15:33. II コリント6:14-18. II テモテ2:22。
 4. ひづめが分かれていて反芻する動物（レビ11:3. 参照、4-8, 26-28節）が表徴するのは、行動において識別があり（ピリピ1:9-10）、多くの再考慮をもって神の言葉を受ける人たちです（詩119:15）。
 5. ひれとうろこを持つ水生動物が表徴するのは、この世で自由に行動し、活動して、同時にその影響に抵抗することができる人たちです（ひれは魚が水中で意のままに行動し、活動するのを助けます。うろこは魚を保護し、魚が海中で生きて塩漬けにされることから守ります）——レビ11:9。
 6. 飛ぶための翼を持ち、命の種を食物の供給として食べる鳥が表徴するのは、この世から離れ、超越した命の中で生き行動することができ、命のものを命の供給とする人たちです——13節。
 7. 羽があって、足の上にももを持ち、地を跳びはねる昆虫が表徴するのは、この世を超越する命の中で生き行動することができ、自分自身をこの世から守ることができる人たちです——21-22節。
- D. わたしたちは一の唯一の立場の上で集まるとき、彼を祭りとして享受することによって彼を食べることができます：
1. イスラエルの子たちは二つの方法で地の産物を享受することができました。普通の、個人的な方法は、いつでも、どこでも、だれとでも、一般的な分として享受することでした（申12:15）。特別な、団体的な方法は、すべてのイスラエル人と共に、定められた祭りにおいて、神によって選ばれた唯一の場所で、最高の分、初穂、初子を享受することでした（5-7, 17-18節）。
 2. 同じように、新約の信者たちがキリストを享受することにも、二つの面があります。一般的で、個人的な面では、いつでもどこでもキリストを享受します。特別な、団体的な面では、一の唯一の立場、神に選ばれた場所で、正しい召会生活の集会において、キリストの最高の分を享受します。
- III. わたしたちは、命の流れの中にある命の木としてのキリストを享受することによって、命の道、命の路線にとどまり、命の中で維持して、神の命にある建造のために、わたしたちの命を成長させなければなりません——ヨハネ10:10後半. 啓22:1-2. エペソ4:16. 2:21-22：
- A. わたしたちが命の道にとどまるのは、命の原則にしたがって生き奉仕することになるのであって、正しいか間違っているかの原則にしたがってではありません：
1. わたしたちは、正しいか間違っているかにしたがってではなく、霊の中の命の内なる感覚、すなわち命の導きにしたがって生き、行動しなければなりません——ローマ8:6. II コリント2:13。
 2. クリスチャン生活の標準は、わたしたちの内側の内住のキリストです。何が正しいか間違っているかは問題ではなく、わたしたちの内側の神聖な命が同意するかどうか問題です——マタイ17:3, 5, 8. 参照、マラキ2:15-16。

- B. わたしたちが命の道にとどまるのは、主を極みまで愛し、人を引き寄せ主の後を走ることによります——マルコ12:30. 雅1:4前半：
1. 命の木としてのキリストを享受するためには、絶えず彼に、「主イエスよ、あなたを愛します」と告げなければなりません。主イエスに対する燃える愛を持ち、すべてのことで彼に第一位を与えるなら、わたしたちは彼であるすべてを享受します——啓2:4-5, 7。
 2. 命の木としてのキリストを享受するためには、人々を彼に婚約させ、彼らを主イエスの尊いパーソンに対する真の評価、愛、享受の中にもたらさなければなりません——Ⅱコリント11:2-3。
 3. 主を信じることは命である彼を受け入れることであり、主を愛することは命である彼を享受すること、まさにわたしたちが受け入れたパーソンを享受することです。信仰は神によってわたしたちに与えられますが、それによってわたしたちはわたしたちの命であるキリストを受けます。愛はそのようなすばらしい信仰から生まれて、わたしたちの命であるキリストにある三一の神の豊富を生かし出すことができるようにします——Ⅱペテロ1:1. ヘブル12:1-2前半. Ⅱコリント4:13. ガラテヤ5:6. ヨハネ1:12-13. 21:15-17. コロサイ3:4。
 4. わたしたちが主イエスを受け入れた命はまさにパーソンであり、このパーソンを適用し、享受する唯一の道は、初めの愛をもって彼を愛することによります。わたしたちの命である主イエスはパーソンであるので、わたしたちはまさにこの瞬間に、また日ごとに、彼と新しく接触して、現在の臨在を享受する必要があります——ヨハネ11:25. 14:5-6. Iテモテ1:14. ヨハネ14:21, 23. Ⅱコリント5:14-15. 啓2:4-7. コロサイ1:18後半。
 5. わたしたちが彼を愛するとき、彼はご自身をわたしたちに現し、彼と御父はわたしたちの所へ来て、わたしたちと共に住まいを造ります（ヨハネ12:21, 23）。こういうわけで、わたしたちはこのような祈りをささげる必要があります、「主よ、あなたの愛をわたしに示し、あなたの愛でわたしに押し迫ってください。それは、わたしがあなたを愛し、あなたに生きるためです」、「主よ、常に、あなたを愛し続けさせてください」。わたしたちは絶えず主にこう告げなければなりません、「主イエスよ、わたしはあなたを愛します。わたしをあなたの愛の中に保ってください！ あなたご自身でわたしを魅了してください！ 常に、わたしをあなたの愛に満ちた臨在の中に保ってください」（参照、雅1:2-4）。
 6. ローマ書においてパウロは、わたしたちに神の義のみわざが勘定され、彼の聖の浸透がわたしたちの中へと造り込まれ、彼の現された栄光の輝きがわたしたちの中へと放たれたことを示した後、神の心である神の愛の中へとわたしたちをもたらします——創2:8-9. 3:24. ヘブル10:19-20. 啓22:14. ローマ4:22-24. 6:19, 22. 8:18-19, 21. Iコリント1:30. ローマ5:5. 8:30-39. Iヨハネ4:16-18。
 7. 神はまず愛であるご自身をわたしたちに注入することでわたしたちを愛し、わたしたちの内側に愛を生み出しました。それによって、わたしたちは彼を愛し、また兄弟たちを愛します（8, 16, 19-21節）。こういうわけで、わたしたちに対する神の愛は、わたしたちが彼を愛し、またすべての兄弟を愛する愛となります。

8. この事に基づいて、わたしたちは歌い、祈ることができます、「わたしはあなたを愛していますが、わたしの愛をもってではありません。なぜなら、わたしには何も与えるものがないからです。わたしはあなたを愛していますが、すべての愛はあなたのものです。なぜなら、わたしはあなたの愛によって生きているからです」(英文詩歌546番、1節)、「あらゆる心は何かを愛しています。もしイエスがなければ、だれも安息できません。主よ、わたしの心をあなたにささげます。受け取ってください。なぜなら、それは最もあなたを愛するからです」(英文詩歌547番、1節)。

© 2022 *Living Stream Ministry*